

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI・中国A株インデックス・ファンド（愛称：雪だるま（中国A株）」）は、2023年7月12日に第2期決算を行いました。

当ファンドは、中国A株インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に中国A株への投資を行い、FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第2期末（2023年7月12日）

基準価額	9,686円
純資産総額	736百万円
第2期	
騰落率	△15.8%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI・中国A株 インデックス・ファンド （愛称：雪だるま（中国A株））

追加型投信／海外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第2期（決算日：2023年7月12日）

作成対象期間（2022年7月13日～2023年7月12日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

（2022年7月13日～2023年7月12日）



期 首：11,501円

期 末：9,686円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△15.8%

（注1）ベンチマークは、FTSE 中国A50インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

（注2）ベンチマークは、期首（2022年7月12日）の値が当ファンドの基準価額と同一となるよう指数化しています。

（注3）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の変動要因

上昇要因

- ・2022年11月以降、中国政府がゼロコロナ政策を事実上放棄したことから、景気回復期待が高まったこと。また、中国企業の米国での上場廃止リスクが後退したことが好感されたこと
- ・景気の回復が思わしくないことから、政策への期待が見られたこと
- ・当期、中国、日本ともに金融政策の方向は緩和であったが、相対的に見て、中国の方が日本よりも金融緩和の程度が小さく、インフレ率も低いことなどから人民元が日本円に対して通期で上昇したこと
- ・中国政府による自国のハイテク企業強化の動き

下落要因

- ・2022年10月まで中国政府がゼロコロナ政策を維持したことから、経済活動停滞への懸念、景気先行きへの不透明感などから、株価が下押しされたこと
- ・ゼロコロナ政策放棄後の経済活動の回復が予想よりも鈍かったこと
- ・米国の対中輸出規制強化、中国テクノロジー企業への投資制限などに加え、気球問題などから米中関係の緊張が続き、これが売り材料ととらえられたこと
- ・米国をはじめとした主要国の金融政策正常化の動きと、それを受けた世界的な金利上昇

1万口当たりの費用明細

（2022年7月13日～2023年7月12日）

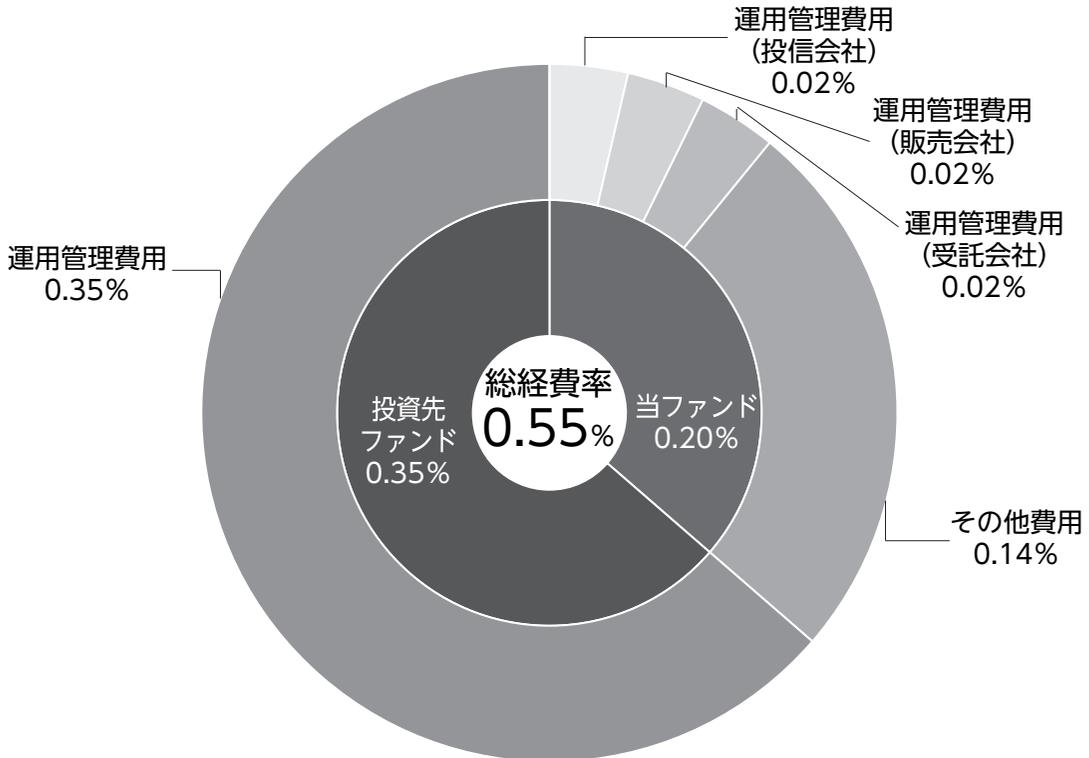
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	6 円	0.064 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(2)	(0.024)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(2)	(0.024)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	14	0.143	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(12)	(0.123)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.020)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	20	0.207	
期中の平均基準価額は、10,083円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.55%です。



総経費率 (①+②)	0.55%
①当ファンドの費用の比率	0.20%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.35%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2018年7月12日～2023年7月12日）



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2021年7月30日から2023年7月12日）のみの記載となっております。

(注2) ベンチマークは、FTSE 中国A50インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注3) ベンチマークは、設定日（2021年7月30日）の値が当ファンドの基準価額と同一となるよう指数化しています。

(注4) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2021年7月30日 設定日	2022年7月12日 決算日	2023年7月12日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,501	9,686
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	15.0	△15.8
ベンチマーク騰落率 (%)	—	17.4	△15.1
純資産総額 (百万円)	97	598	736

(注1) ベンチマークは、FTSE 中国A50インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、設定日（2021年7月30日）の値が当ファンドの基準価額と同一となるよう指数化しています。

(注3) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注4) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2022年7月12日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2022年7月13日～2023年7月12日）

<中国株式市場>

当期は、中国市場は、2022年10月ごろまでは、中国政府のゼロコロナ政策により、諸外国と比べて経済活動の回復が思わしくなかったことなどから軟調な相場展開となりました。さらに、米国の対中輸出規制強化、中国テクノロジー企業への投資制限なども売り材料とみなされました。その後、11月ごろにかけて中国政府がゼロコロナ政策を事実上放棄すると、ゼロコロナ政策による経済活動の遅れに対する税制期待、景気回復への期待から市場は上昇傾向となりました。同時期、中国企業の米国での上場廃止リスクが後退（米上場企業会計監査委員会（PCAOB）が、中国企業の監査書類を十分精査できていると声明）したこともプラス材料となりました。しかしながら、ゼロコロナ政策放棄に伴う新型コロナウイルス感染再拡大への懸念なども残り、急反発とはなりません。恒例となった米国の対中輸出規制強化、中国テクノロジー企業への投資制限などの米国の対中制裁に加え、気球問題などから米中関係の緊張が続き、これが売り材料ととらえられました。また、不動産企業の不良債権問題、個人の住宅ローン債務問題、不動産収入に依存した中国地方政府の財政問題などの不動産投資を巡る諸問題も目立った改善が見られませんでした。さらに、景気指標も、目立った改善が見られずまだら模様であったことから、株価の回復も緩慢なものとなりました。こうしたなか、通期では、小幅ながら下落しました。

<外国為替市場>

人民元／円は、期首1人民元20円台で始まり、期末19円台で終えました。期中は概ね19円台から20円台での狭い範囲で推移しました。期首から2022年11月ごろまで概ね19円台半ばから20円台半ばで推移しました。2022年12月ごろから期末まで、概ね19円台での推移となりました。

対米ドルでは、2022年10月ごろまで米国の金融引き締め強化、米国債金利上昇を受けて人民元安ドル高となりました。その後2023年1月ごろまで、ゼロコロナ政策放棄による景気回復期待や米国の金融引き締めペース緩和への期待などから人民元高ドル安傾向となりました。2023年2月以降は中国景気の回復が緩やかなものとなったことなどから人民元安ドル高傾向となりました。

こうしたなか、人民元の対円レートは、2022年12月に日本銀行が金融緩和策の修正を決めたことから、レンジがやや円高方向に動きました。その後も、中国での景気回復が予想よりもペースが遅いこと、日本の景気が比較的堅調なこと、インフレも中国がどちらかと言えばデフレ気味であること、日本のインフレに上振れが見られることなどからやや円高傾向となって推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2022年7月13日～2023年7月12日）

<当ファンド>

ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象である中国A株インデックスマザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<中国A株インデックスマザーファンド>

ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・インクが運用を行う「iシェアーズ FTSE 中国A50 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

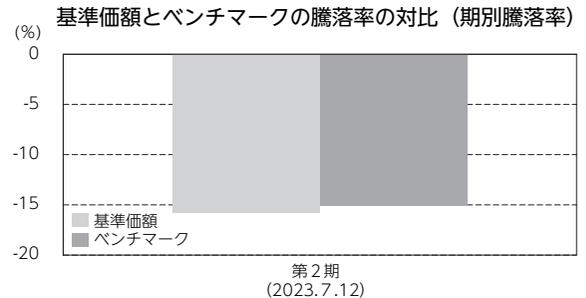
なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.9%となっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年7月13日～2023年7月12日）

期中における基準価額は、△15.8%の下落となり、ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）」の騰落率である△15.1%をおおむね0.7%下回りました。

主な要因としては、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション等の要因が挙げられます。



（注）ベンチマークはFTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）です。詳細はP12をご参照ください。

分配金

（2022年7月13日～2023年7月12日）

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第2期	
	2022年7月13日～ 2023年7月12日	
当期分配金	－	
（対基準価額比率）	－%	
当期の収益	－	
当期の収益以外	－	
翌期繰越分配対象額	937	

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<当ファンド>**

引き続き、ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象である中国A株インデックスマザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行う方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

<中国A株インデックスマザーファンド>

引き続き、「iシェアーズ FTSE 中国A50 ETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

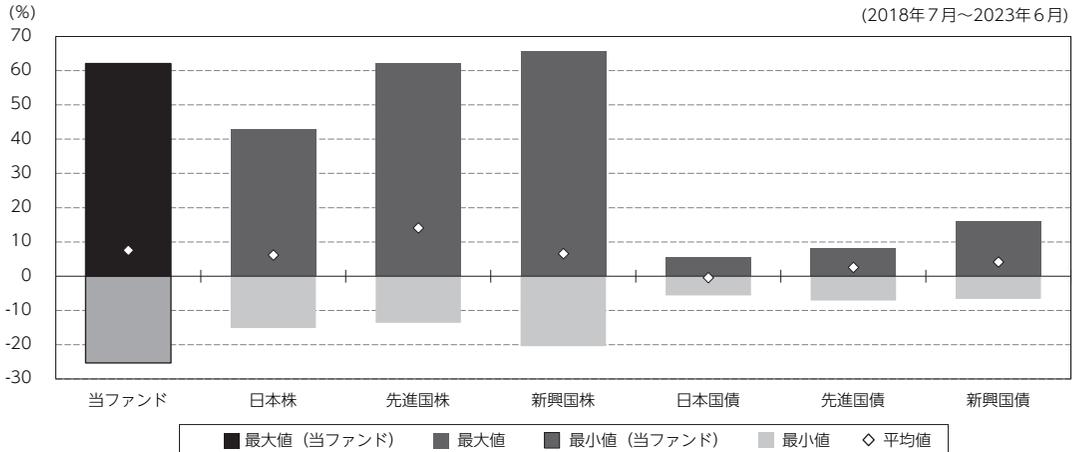
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2021年7月30日）	
運用方針	中国A株インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に中国A株への投資を行い、FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド （ベビーファンド）	中国A株インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド （ベビーファンド）	中国A株インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に中国A株への投資を行い、FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、中国A株へ実質的に投資を行い、FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年7月12日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	62.1	42.8	62.2	65.6	5.5	8.3	16.0
最小値	△25.3	△15.1	△13.6	△20.4	△5.6	△7.1	△6.6
平均値	7.6	6.1	14.1	6.6	△0.4	2.6	4.1

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2018年7月から2023年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、設定日以降のデータが5年に満たないため、2022年7月末から2023年6月末のデータを基に算出しています。なお、当ファンドに係る2022年6月までの年間騰落率についてはベンチマークを用いて算出しています。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

- 日本株…Morningstar 日本株式指数
- 先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）
- 新興国株…Morningstar 新興国株式指数
- 日本国債…Morningstar 日本国債指数
- 先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）
- 新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年7月12日現在)

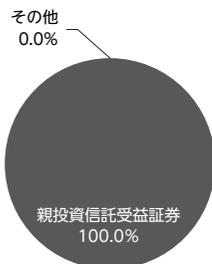
○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
中国A株インデックスマザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

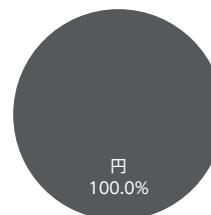
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

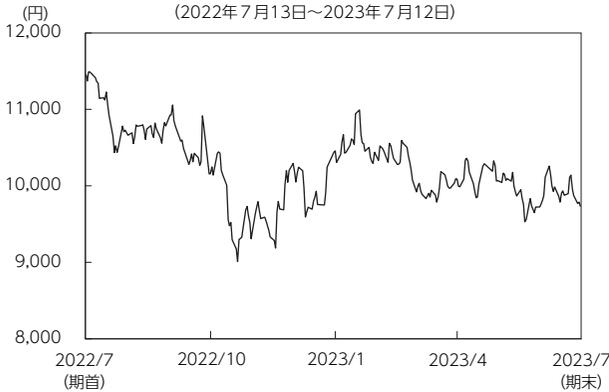
項目	第2期末
	2023年7月12日
純資産総額	736,116,364円
受益権総口数	759,941,743口
1万口当たり基準価額	9,686円

(注) 期中における追加設定元本額は635,083,063円、同解約元本額は395,803,056円です。

組入上位ファンドの概要

中国A株インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2022年7月13日～2023年7月12日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	12円	0.122%
(その他)	(12)	(0.122)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	12	0.122
平均基準価額は、10,114円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2023年7月12日現在)

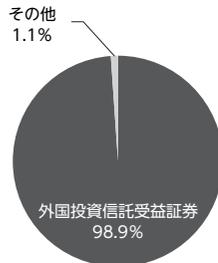
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ISHARES FTSE CHINA A50 E-CNY	投資信託受益証券	人民元(オフショア)	香港	98.9%
組入銘柄数			1銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

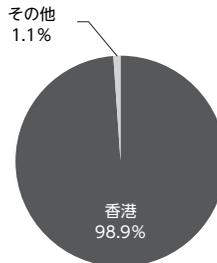
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

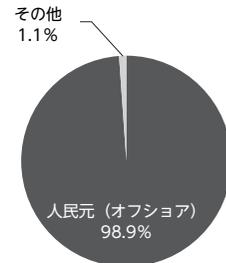
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2023年7月12日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は発行国を表示しています。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマークは、FTSE 中国A50インデックスを委託会社にて円換算しています。

OFTSE 中国A50インデックス

FTSE 中国A50インデックスは、FTSE社が開発した指数で、中国株式市場における大手企業のパフォーマンスをカバーすることを目的としており、流動性のある中国A株の時価総額上位50銘柄で構成されています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

〈各指数の概要〉

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用し得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

S B I ・中国A株インデックス・ファンド（以下「本ファンド」）は、S B I アセットマネジメント株式会社の責任のもとで設定・運用されるものであり、ロンドン証券取引所グループおよびグループ各社（以下LSE Group）によって出資、保証、販売または販売促進されるものではありません。FTSERussellは、LSE Groupに属する子会社の商標です。

FTSE 中国A50インデックス（以下「本インデックス」）に関する一切の権利は本インデックスを保有するLSE Group会社に帰属します。“FTSE®”、“FTSE Russell®”は、LSE Group各社の商標であり、ライセンスに基づき他のLSE Group会社によって使用されています。本インデックスはFTSE International Limitedまたはその関連会社、代理人、あるいはパートナーによって計算されます。LSE Groupは、(a)本インデックスの使用、信頼性、または瑕疵、(b)本ファンドへの投資、操作から生じるいかなる責任も負いません。LSE Groupは本ファンドから得られる成果、およびS B I アセットマネジメント株式会社によって設定された本ファンドの商品性に対する本インデックスの適合性のいずれに関しても、請求、予測、保証、または表明を一切行いません。